

事務事業名		農業振興対策協議会運営事業		<input type="checkbox"/> 実施計画掲載事業	<input type="checkbox"/> 総合戦略掲載事業																				
政策体系	政策名	0 1 豊かな市民生活を実現する産業の振興		事業期間																					
	施策名	0 2 地域特性を活かした農林業の振興		区分																					
	基本事業名	0 1 魅力ある農業の推進		単年度繰返																					
根拠法令		大船渡市農業振興対策協議会設置条例		※期間欄に開始年度を記入																					
所属	部課名	農林水産部農林課		【開始年度】																					
	課長名	佐藤 雅基		昭和48 年度～																					
	係名	農政係	電話	0192-27-3111																					
	担当者	鈴木 英行	内線	348																					
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				全体計画(※期間限定複数年度のみ)																					
<ul style="list-style-type: none"> <li>大船渡市長が委嘱した委員で構成される大船渡市農業振興対策協議会を開催し、市農業振興基本計画の取組状況や、市長が諮問した大船渡市の農業振興にかかわる事項について協議する。</li> <li>委員の構成は、農業委員会の委員、農業団体の役職員、知識経験者、農業者による16名(条例では20名以内)で、任期は2年。</li> <li>業務内容は、①報告事項及び協議事項の設定、②開催日の調整、③開催通知、④会議資料の作成、⑤協議会の運営、⑥報酬等の支払である。</li> <li>出席委員には報酬と費用弁償を支払う。</li> </ul>				<table border="1"> <tr><td>国庫支出金</td><td></td></tr> <tr><td>都道府県支出金</td><td></td></tr> <tr><td>地方債</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td></td></tr> <tr><td>事業費計(A)</td><td>0</td></tr> <tr><td>正規職員従事人数</td><td></td></tr> <tr><td>延べ業務時間</td><td></td></tr> <tr><td>人件費計(B)</td><td>0</td></tr> <tr><td>トータルコスト(A)+(B)</td><td>0</td></tr> </table>		国庫支出金		都道府県支出金		地方債		その他		一般財源		事業費計(A)	0	正規職員従事人数		延べ業務時間		人件費計(B)	0	トータルコスト(A)+(B)	0
国庫支出金																									
都道府県支出金																									
地方債																									
その他																									
一般財源																									
事業費計(A)	0																								
正規職員従事人数																									
延べ業務時間																									
人件費計(B)	0																								
トータルコスト(A)+(B)	0																								

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)								
前年度実績(前年度に行った主な活動) 協議会の開催、委員の改選	<table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア 協議会開催回数</td><td>回</td></tr> <tr><td>イ</td><td></td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td></tr> </table>	名称	単位	ア 協議会開催回数	回	イ		ウ	
名称	単位								
ア 協議会開催回数	回								
イ									
ウ									
今年度計画(今年度に計画している主な活動) 協議会の開催									
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 市の農業振興に係わって諮問した議案	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)								
	<table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>カ 諮問した議案の数</td><td>件</td></tr> <tr><td>キ</td><td></td></tr> <tr><td>ク</td><td></td></tr> </table>	名称	単位	カ 諮問した議案の数	件	キ		ク	
名称	単位								
カ 諮問した議案の数	件								
キ									
ク									
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 諮問した議案を承認してもらう。	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)								
	<table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>サ 承認された議案の数</td><td>件</td></tr> <tr><td>シ</td><td></td></tr> <tr><td>ス</td><td></td></tr> </table>	名称	単位	サ 承認された議案の数	件	シ		ス	
名称	単位								
サ 承認された議案の数	件								
シ									
ス									
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) 安定して農業を営む。									

(2) 総事業費・指標等の推移

投入量	事業費	財源内訳	単位	年度						
				2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(目標)	7年度(目標)	
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0
		都道府県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	0	0	0	
		一般財源	千円	130	163	69	58	149	149	
	事業費計(A)		千円	130	163	69	58	149	149	
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1	
		延べ業務時間	時間	130	300	80	80	80	80	
		人件費計(B)	千円	520	1,200	320	320	320	320	
		トータルコスト(A)+(B)		千円	650	1,363	389	378	469	469
⑤活動指標		ア	回	2	3	1	1	1	1	
		イ								
		ウ								
⑥対象指標		カ	件	2	4	1	2	1	2	
		キ								
		ク								
⑦成果指標		サ	件	2	4	1	2	1	2	
		シ								
		ス								

事務事業ID	0488	事務事業名	農業振興対策協議会運営事業
--------	------	-------	---------------

<b>(3) 事務事業の環境変化・住民意見等</b>	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	大船渡市の農業を、農業関係者・団体が話し合っって振興するために、昭和39年に大船渡市農業基本対策協議会が設置され、昭和48年に大船渡市農業振興対策協議会へと改変された。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	高度経済成長期に他産業へ労働力が流出したことで、農業従事者の減少と高齢化が進んだ。 米を始めとする国による生産調整対策が行われていたが、平成30年度より生産数量目標の配分が廃止され、自由な作付けが可能になった。 農畜産物の輸入自由化により、低価格の農畜産物が輸入され市場競争に勝ち残ることが困難になってきている。 これらを通じて農業に対する意欲が減退し、耕作放棄地の増加が著しく進んでいる。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	協議会委員からは、諮問事項がなくても最低年1回は開催するよう要望されている。 農業者からは、大船渡市において農業経営を維持・継続できる政策を考えて欲しいと意見が出されている。 国が進める、人・農地プランの実質化の推進に伴い、令和2年度に、当該協議会において、検討会を実施した。

2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由・内容 協議会委員は農業関係団体・機関の代表で構成されており、市農業の振興に関する事項の意思統一が図られる。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由・内容 大船渡市農業の振興を、行政機関だけでなく、関係機関・団体・生産者を交えて協議してもらうために出席した協議会委員に報酬を払うのは妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由・内容 農業振興対策に必要な事項を調査審議するために設置されているので、妥当である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない	理由・内容 引き続き事業を行うことにより、市の農業振興に係る方向性とその都度明確化されることから、今後とも継続し、成果の維持を図る必要がある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由・内容 市の農業振興に関する計画を関係機関・団体・生産者で議論する場が失われる。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由・内容 報酬及び費用弁償は市の規定に基づいて支出している。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由・内容 業務が、開催日の調整・通知、資料の作成、協議会の開催などであり、削減の余地はない。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由・内容 受益者負担が伴わない事業である。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性	(2) 改革・改善による期待成果	(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																							
1 現状維持	<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×	現状どおり、継続して事業を実施する。
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		●	×																					
	低下		×	×																					
※(1)改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入。 (現状維持の場合、コスト及び成果は「維持」) (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																									

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
1 現状維持	市の農業振興を図っていく上で重要な組織であり、現状維持で継続する。